

ケニア生活での健康上注意

平成25年6月

邦人安全対策協議会

日本大使館、宮村治男

本日の話題

1. ケニアで多い外傷
2. 感染症・風土病
3. 薬の処方、病院のかかり方

交通事故

＜症例＞ 23歳男子大学生、世界各国旅行中

夜行便バスでナイロビからモンバサへ移動中、
午前3時にバスが横転し、顔面・頸部を受傷
付近住民に助け出され、
病院で応急治療
その後ナイロビで
医務官が診察



交通事故からの教訓

- 夜間のバスは危険
- 乗車中は緊張が必要。睡眠中や読書中の事故では重傷になる。
- 救助に来る住民には目的がある。貴重品は肌身離さず。
- マタツは利用者・歩行者・運転者それぞれに危険な乗物。
- シートベルトは確実に。



外傷に関する注意

- 汚れた土壌でのケガは破傷風に注意
- 砂ノミ症(jigger flea)に注意
裸足にならないこと



野生動物に注意！

- ケニアにも毒蛇はいる。バリngo湖周辺で被害者が多く出ている。
- ケニア各地で野犬に咬まれる被害が出ている。ナイロビ(Dagoretti地区)でも3月に老人が咬み殺される事件があった。



人間にとって一番危険な野生動物は？



こいつが一番危ない



サブサハラのアフリカではカバの犠牲になる人が多い。カバは気の荒い動物である。

注意すべき感染症

- 腸チフス (Typhoid Fever)

チフス菌に汚染された食品・手指・水から経口感染。潜伏期1～3週間。高熱・徐脈・下痢・血便などの症状。ワクチン有。

- コレラ (Cholera)

コレラ菌汚染物からの経口感染。潜伏期1日前後。主症状は重症の下痢。

- リフト・バレー熱 (Rift Valley Fever)

ウィルスが蚊により牛・羊に伝播され、ヒトは蚊か肉・毛皮を扱って感染する。高熱・筋肉痛・関節痛など。

- 旅行者下痢症

大腸菌などが原因で、数日間下痢が続く。対症療法で良い。

感染症予防の一般的注意

- 外出後の手洗い・うがいの励行
- 生水は飲まない
- 川・池・湖で水浴しない(住血吸虫のおそれ)
- 蚊に刺されない

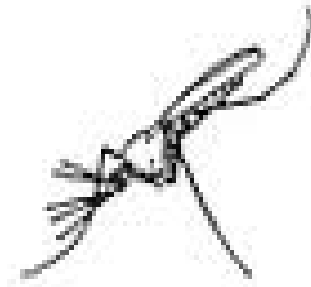
マラリア・デング熱・黄熱・リフトバレー熱

ウェスト・ナイル熱 などを媒介

- ハエに注意

アフリカ睡眠病(ツェツェバエ)、ハエ幼虫症(トウンブ・フライ)、リーシュマニア症(サシチョウバエ)など

ハマダラ蚊



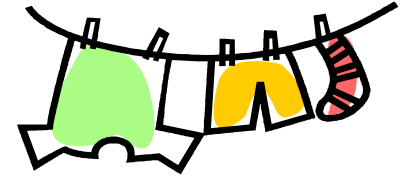
- マラリアを媒介する
- 日暮れ時から夜間に活動する
- 白色より黒色を好むようだ
- マラリア原虫はヒト体内で約1週間潜伏する
- 農村・田園地帯の池や川近くに多い

ネツタイシマ蚊



- デング熱(ウィルス病)を媒介する
- デング熱に対する予防薬・治療薬はない
- 2013年3月、ケニア沿岸州、モンバサで流行
- 日中も活動し、都会の街中(特にスラム街)に多く見られる
- 水溜まりや空き缶などのボウフラから生育する

洗濯物は屋外で干さないこと

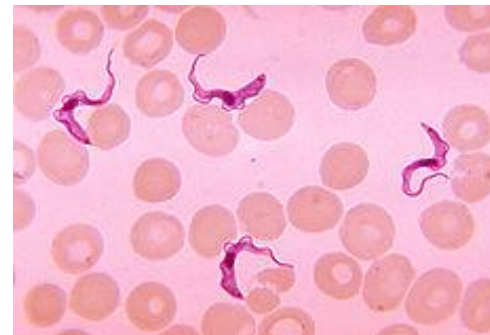


- ハエ幼虫症（ハエ蛆症）， Myiasis, Maggot Infestation という寄生虫病。
- Tumbu Flyというハエ。サブサハラには多い。
- 危険性のある洗濯物にはアイロンをかける。

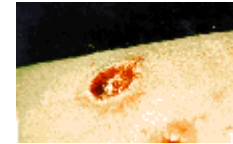
- ツェツェバエは体長1cm前後で、雌雄とも日中活動して吸血し、睡眠病(トリパノゾーマ症)の原因となる。
- 昨年マサイ・マラで数名の観光客が発症。
- サファリの車内に入り込んでいる事がある。
- 咬まれるとひどく痛い。
- 薄手の布は刺し通す。
- 濃い色を好むようだ。



ツェツェバエ



皮膚リーシュマニア症



- サシチョウバエという蚊のような昆虫で媒介される
- 病原体はリーシュマニアという原虫
- 保虫宿主はイヌや野生動物
- とても痒い。掻いていると皮膚に潰瘍ができる

Nairobi fly (火傷虫)

アリガタハネカクシ



- 体長8~9mmの細長い甲虫である。
- 雨期に繁殖する。
- 枯葉の上に産卵する。
- 人を咬んだり刺したりはしない。

皮膚炎



虫の体液が強い炎症を起こす。

火傷のような皮膚症状となる。

この昆虫を皮膚の上に認めたら、叩き潰してはいけない。紙などを使って払い落とすこと。

救急車 (Ambulance Services)

- 公的な救急車サービスとして:

St. John's Ambulance

Tel: 340274 / 020 221 0000

できれば自家用車かタクシーを利用して病院に行くことを勧める。

- AMREF Ambulance

遠距離や国外への緊急移送を請け負う会社

- International SOS

ナイロビの総合病院

- The Aga Khan University Hospital,
3rd Parklands Ave.
- The Nairobi Hospital, Argwing Kodhek Rd
- The Karen Hospital, Langata Rd, Karen
- Gertrude's Children's Hospital, Muthaiga

ナイロビの医療事情

- 設備が良いからといって、良い医療サービスが得られる訳ではない。
- 初診料を払わないと診察が始まらない。
- 検査料金を払わないと検査しない。胸部X線撮影で1,700Ksh、CTなら20,000Ksh位かかる。
- 救急外来 (Casualty Department) は24時間オープンしている。夜間は待たされることが多い。
- 慢性疾患(高血圧・喘息・高脂血症など)の内服薬は、だいたいナイロビの薬局でも購入できる。医薬品の一般名を知っておくと良い。

2013年前半、感染症の警告

- 3月～4月、モンバサでデング熱流行(CDC)
- 5月、ソマリア国内とダダーブ(ケニア)で野生株ポリオの発生
- 5月、エチオピア保健省、6名の黄熱患者発生を報告
- 中東(サウジ、ア首連、ヨルダンなど)で新型コロナウイルス感染(MERS)流行、感染者数55名、死者33名(6/04現在)

ご静聴有難うございました

